



アビダジャマハーラッタグル
(正法によって国を導く偉大な師)



バッドンタ ウ ケサラ大長老 による教え戒めの説法・1

通訳 バッドンタウニャーヌッタラ大長老

(2013 年 4 月 28 日(日) ミャンマー国マハーアウンミエ僧院)

2013 年 4 月 28 日(日) ミャンマー国ヤンゴンの僧院にてバッドンタ ウ ケサラ大長老様とバッドンタ ウ ニャーヌッタラ大長老の勲章授与お祝い儀式が開催されました。5 月 4 日(土) 日本に帰国する前日、私たちはバッドンタ ウ ケサラ大長老様に、日本上座仏教修道会から四資具のお布施と、会に関係する皆さんからそれぞれお預かりしたお布施をご供養致しました。その後オーカーサ礼拝を唱えて礼拝し、バッドンタ ウ ケサラ大長老様の祝福を頂戴いたしました。日本上座仏教修道会を代表してお祝い儀式に参加した 6 名と日本の上座仏教修道会のすべての会員の皆さんのために、バッドンタ ウ ケサラ大長老様は教え戒めの説法を説かれました。バッドンタ ウ ケサラ大長老様に尊敬合掌礼拝し、感謝申し上げ、皆さまにお伝えいたします。

日本上座仏教修道会代表 吉田

バッドンタ ウ ケサラ大長老による 教え戒めの説法

2013 年 1 月 4 日ミャンマー独立記念日に、ラインサーヤー町 7 番地ポーヤーザ通りマハーアウンミエ僧院 大僧院長である私に、アビダジャマハーラッタグル勲章をミャンマー政府が授与しました。またミャンマー政府は、日本 茨城県 銚田市飯島 浄心庵精舎 上座仏教修道会 バッドンタ ウ ニャーヌッタラ大長老にアッガマハーサッダンマジヨーティカダジャ勲章(正法の光を世界に輝かせる偉大な智慧者)を授与することを叙勲の辞令(No1/2013)によって宣言しました。

今年 2013 年 3 月 26 日(火) 満月の日に、ミャンマー国首都ネピドーのウッパダサンティ仏塔の庭園にあるセーリミンガラー マハーサーサナ ヴィマーナ(お釈迦さまの教えを伝える偉大な殿堂)において、ミャンマー政府主催でウ テインセイン大統領を主とする

ミャンマー政府から我々二人をはじめ叙勲される長老比丘たちに勲章と印章、旗、白傘などが供養されました。

政府主催の儀式が終わった後、2013年4月28日（日）朝8時に、私とバッドンタ ウ ニャーヌッタラ大長老に関係ある日本とミャンマー両国の在家信者たちはマハーアウンミイエ僧院 サッジャナ スカ カーリー サーサナ ヴィマーナ（聖者たちが楽に住むお釈迦さまの教えを伝える殿堂）において勲章授与のお祝い儀式を行いました。そのお祝い儀式に、日本上座仏教修道会バッドンタ ウ ニャーヌッタラ大長老、大長老のカピヤ（お世話する人）門田毅さん、日本上座仏教修道会 代表吉田郁子さん、会員代表である平野義夫さん、平野英江さん、藤井慈光さん、石田美恵子さんたちは参加しました。上座仏教修道会の会員たちはミャンマー人信者と共に、このお祝い儀式に参加して供養しました。

今、皆さんは勲章授与お祝い儀式が終わったので日本へ帰ります。帰る前にこのように布施してオーカーサ礼拝を礼拝したので、今ミャンマーにいるあなたたちと、日本の上座仏教修道会の皆さんと関係者の皆さんに、これから説法します。

5つの得難いこと

1. Buddhuppadā dullabhā

「お釈迦さまの教えと出会うことは得難い」

得難いですが、今この時期に、私（ケサラ大長老）と日本上座仏教修道会の皆さんは、過去のカルマ・現在のカルマによって、お釈迦さまの教えが栄える時期に、このように出会いました。このことは大变得難く幸運なことです。

2. Manussattabhavā dullabhā

「人間に生まれることは得難い」

得難いですが、お釈迦さまの教えが栄えるこの時期に人間に生まれました。このことは大变得難いことです。私たちと日本上座仏教修道会の皆さんは、たくさんの過去世の中で積んだ波羅蜜の功德の力で、お釈迦さまの教えが栄える時期に、人間に生まれました。このような時期に人間に生まれることは大变得難く幸運なことです。

3. Saddhammasavana dullabhā

「正しい法を聴くことは得難い」

得難いですが、私たちと日本上座仏教修道会の皆さんは、過去世のカルマ・現在のカルマで積んだ波羅蜜の功德の力で、お釈迦さまの教えが栄える時期に人間に生まれて、お釈迦さまが説かれた正しい法を善い先生から聴くこと、勉強することができます。このことも大變得難く幸運なことです。

4. Saddhā sampatti dullabhā

「信じる心で満たされることは得難い」

得難いですが、今、私たちと日本上座仏教修道会の皆さんは、お釈迦さまの教えが栄えるこの時期に人間に生まれて、お釈迦さまが説かれた正しい法を善い先生から聴くこと、勉強することによって、三宝を信じる心で満たされているから幸運です。この三宝を信じる心があるから、仏教徒になって、皆さんの心にお釈迦さまの教えが伝わることができました。皆さんはお釈迦さまの徳と恩、法の徳と恩、比丘サンガの徳と恩を信じています。善因善果、悪因悪果を信じているから悪行を避けて積むべき功德を積んでいます。善いことを行ったら善い結果、悪いことを行ったら悪い結果になることを皆さんは信じています。輪廻解脱・涅槃も信じています。このように、信じる心に満たされることは大變得難く幸運なことです。

5. Pabbajjita dullabhā

「お釈迦さまの教えのもとで出家することは得難い」

得難いですが、三宝を信じる心で満たされているから、今、日本の上座仏教修道会の中で正学女、見習出家、比丘出家が顕れています。このことは大變得難く幸運なことです。他の会員の人々もニャーヌッタラ大長老の、浄心庵精舎での10日間宿泊瞑想会で、在家の持つ家族や仕事などから離れて、三帰依とともにふさわしい戒律を守って一時出家のように実践することも、とても得難く幸運なことです。

まとめると、

1. お釈迦さまの教えが栄える時期に出会うことは得難い。
2. その時期に人間に生まれることは得難い。

3. お釈迦さまが説かれた正しい法を善い先生から聴くこと、勉強することは得難い。
4. 聴いて勉強することによって信じる心で満たされることは得難い。
5. お釈迦さまの教えのもとで出家することは得難い。

考えれば考えるほど上座仏教修道会の日本人の会員の皆さんは幸運です。上座仏教修道会の皆さんは5つの得難いことを今世で全部得ています。このことを喜んで、避けるべき悪行を避けて、積むべき功德を積んで暮らしてください。避けるべき悪行はどんな小さな悪行でもやらないでください。

それでは、積むべき功德とは何でしょうか？

(次号へ続く)